

## 伊豆八十八札所巡礼報告書

2021年10月13日（水）終日雨

文・写真 後藤

巡路 七番・泉龍寺～六番・金剛寺～八番・益山寺～九番・澄楽寺（昼食）～十番・蔵春院

距離＝約18km、参加＝12名。

7・8・9月は、コロナ・猛暑で休講だった。久しぶりの実施だったが、生憎の天気。降られることを覚悟で実施。七番・泉龍寺から出発。早くも小雨。六番・金剛寺着。寺は無住で荒れ放題。2009年、初めて訪れた時、大ババさま（杉本ふみ・当時88歳）が、お新香を出してくれたことを思い出した。大ババさまは、ご詠歌を高野山まで学びに行ったという。免許皆伝で壁に高野山の証明書があった・・・。

また、その昔、結婚式があるから来いといわれ、行ってみると、それは自分の結婚式だった・・・。初恋の人は特攻隊員だった。出撃するので鹿児島・知覧に見送りに行った。昭和20年8月10日、彼は南の海に消えた・・・。など、話してくれた。



泉龍寺前



金剛寺

この辺りの詳しいことは、拙著「伊豆八十八札所巡礼」にある。なお、寺には、明治初期の伊豆八十八札所の版木がある。この版木が発見され、伊豆巡礼巡拝が再興したといわれる。このコピーは、巡礼修了者にプレゼントしている。

隣の「子神社（ねじんじゃ）」は、立派だった。入り口の杉は巨木だった。子神社は、「八百万の神」を祭ってあるという。また、鳥居の注連縄（しめなわ）は、痛みにくい「ビニール製」だった。大きく立派なものだった。最近では、鳥居も腐り難い材料で作られているようだ。

益山寺に向かう。雨が強くなった。採石場の音が喧しい。上りがキツイ。駐車場に着いたが、雨が強く、寺に上がる急坂は危険なので止めて、バスの中でお勤め。下って大仁に向かう。

狩野川堤防を進み、神島橋を渡る。狩野川が清冽。九番・澄楽寺着。寺は数少ない真言宗。お勤め後、控室で昼食。寺は、何かと良くしてくれるので有難い。食後、大の字にな

って昼寝。

皆さんは、寺下の「ダンケ」というパン屋で買い物。巡礼は、各地を巡るので見聞が広がり、それが楽しい。

午後の巡礼を開始。しかし、雨は止まない。予報は、午後は曇りだったのに……。旧東洋醸造前を通過する。まだ「大五郎」焼酎を作っているのかな？？



子神社



ダンケ

現在、会社は旭化成になり、東洋醸造は消滅。私が定年まで勤務した、国産電機もマーレ（ドイツ系）に買収され、90年近い社歴を閉じた。その時、合成清酒が話題になったが、力正宗は現在、合同酒精が販売。

合成酒とは＝香味、色沢などが清酒に類似した酒。合成酒、新清酒ともいう。ビタミンB1の発見者、鈴木梅太郎により創製されたもので、米を使用せず、清酒中の香味成分を混合、調和して、清酒類似の酒をつくったのが始まりである。すでに明治初期には、輸入アルコールによる混成酒製造の試みがあったが、1901年（明治34）の酒税法の改正で混成酒への増税が行われたため、その製造は中断された。明治末期ごろには研究はかなり行われていたが、18年（大正7）の米騒動を契機に、主食である米を酒造りに消費することを憂えて、鈴木らにより本格的な研究が始まった。21年には清酒代用飲料製造法の特許を得た。この研究と製造が理化学研究所で行われたため、酒の名も「理研酒」あるいは「合成酒」とよばれていたが、40年（昭和15）の酒税法の改正により「合成清酒」となった。

まず、アラニンなどを糖液に加えて発酵させると清酒様（よう）香気を生じるという発見が、新しい合成酒発明の糸口となり、重要な呈味成分であるコハク酸を安価に得られる製法が発明されて、酒質は飛躍的に良好となった。1936年には理化学研究所がこの特許の分権を行ったため、全国各地で製造が行われるようになった。第二次世界大戦後、米不足から清酒の製造は減少したが、これにかわって合成清酒は大きく伸びた。

51年（昭和26）合成清酒に米を一部（5%だけ）使用できるようになり、また



蒸留法の進歩、調合法の研究によって品質は向上し、62年までの10年間、製造量は毎年約14万キロリットル前後に達した。しかし経済の好転以来、合成清酒は名称からくるイメージの悪さ、酸味の強さ、香味の複雑さに欠けることなどから消費量が急激に減少し、「新清酒」という新名称の考案にかかわらず、75年以降は2万キロリットル程度となった。その後、品質の向上もあって90年（平成2）ごろから消費量が増加し、95年には5万キロリットルを超えている・・・ネットと、凄い歴史が分かった。たかが合成酒、されど合成酒である。



澄楽寺



蔵春院

しばらく歩き、広瀬神社に寄った。大きく立派な神社だった。歴史的には相当古い神社であった。田京駅から蔵春院に上る。立派な寺。ここも歴史が長かった。開創は、約600年前の1439年という。山門の金剛力士仁王像も素晴らしい。寺は私が巡礼を始めたころ建て直されキレイになった。

住職は、三島広小路の常林寺の前の住職の弟さま。奥様の山田久美子さんは、以前、巡礼に参加していた方の親戚といった。依然として雨が止まないなので、寺入り口で記念写真を済ませ今回は終了。修善寺の「農の駅」で買い物をした。雨の一日だったが、久しぶりに皆様と歩け良かった。



狩野川堤防



狩野川





蔵春院



蔵春院